

令和4年第2回大山町議会定例会一般質問

令和4年3月15日・16日

通告順	議席 番号	氏 名	質 問 事 項
1	11	杉谷洋一	1. 不登校・ひきこもり支援は 2. 小中学校・保育園の新型コロナウイルス対応は
2	6	池田幸恵	1. オンライン授業の導入を 2. 乳ガン自己検診手袋配布で関心率の向上を
3	5	森本貴之	1. 令和4年度予算がえがく本町のビジョンは
4	7	門脇輝明	1. 奨学金返還支援等の拡充について 2. 窓口対応と研修について
5	10	大森正治	1. 憲法を生かした子育て・教育政策をさらに 2. 国民健康保険税の引き下げを
6	13	吉原美智恵	1. 大山の「日本遺産」を活かす取り組みは 2. 地域包括システムの更なる推進は
7	3	豊哲也	1. 役場職員の働きやすさについて 2. 本町の新型コロナウイルス対応について
8	1	小谷英介	1. 若手職員の育成について 2. 地域おこし協力隊などの活用方針について
9	4	島田一恵	1. 空き家対策について
10	2	西本憲人	1. ゴミ問題を解決して収益化しないか 2. 少子化対策の明確な目標値は
11	12	近藤大介	1. これからのまちづくりについて 2. 除雪機の補助金について
12	14	岡田聰	1. 小・中学校教育の向上は 2. 高齢者福祉の一層の向上や支援の拡充を
13	8	大原広巳	1. 家庭保育支援給付金事業について 2. 耕畜連携推進事業について
14	15	野口俊明	1. 農地は、農業はどう守る

令和4年2月18日

大山町議会議長 米本 隆記 様

議席番号 11番 大山町議会議員 杉谷 洋一



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 50分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1. 不登校・ひきこもり支援は</p> <p>小中学校の令和2年度の不登校は全国約20万人で、いじめや学業不振、経済的理由など、ちょっとした「きっかけ」や条件で誰にでも起こると言われている。</p> <p>ここ数年は新型コロナウイルスの影響で増加傾向になっている。令和2年度の鳥取県の不登校は小学校で343人、中学校555人で、特に小学校は全国ワースト4位(1000人当たり11.9人)で、中学校も急激に生徒が増えているが、本町の小中学校の現況はどのようになっているか。</p> <p>不登校を改善するには、児童生徒に学ぶ意欲を育むための教育が必要で、それには発達段階に応じた、キメ細かな配慮やさまざまな体験活動を通じて、自らの生き方や将来に対する夢、目的意識について考える「きっかけ」を与える授業が重要と考える。</p> <p>新型コロナウイルスで普段とは違う生活が長く続くと、眠りのリズムが崩れ、食欲の変化やイライラから不登校につながることもあり、また、学業不振が「きっかけ」となり不登校となるケースがあるので、学習の理解状況や習熟程度に応じた判りやすい授業や、自分の存在感や精神的な充実感を得られる「心の居場所」や社会性を身につけるための「絆づくり」など、学校生活での豊かな心を持った人間形成が不可欠である。</p> <p>いじめを許さない学校づくりや、問題行動に対しては毅然とした対応で、将来の社会的自立に向け、安心して通うことのできる学校を目指し、また、児童生徒に対するキメ細かな柔軟な対応によって、保護者との信頼関係を構築した魅力ある学校づくりが求められている。</p> <p>①不登校の児童生徒の推移は ②不登校の児童生徒の指導は ③不登校の原因把握と改善方法の取り組みは ④不登校生徒の進路についての指導は ⑤保護者と学校との信頼関係は ⑥家庭内学習への支援状況は</p>	<p>教育長</p>



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>2. 小中学校・保育園の新型コロナウイルス対応は</p> <p>全国の新型コロナウイルスは第六波のオミクロン株が急拡大し、各地で小中学校・保育園で休校・休園を余儀なくされている。新しく変異株でオミクロン株の2倍の感染力やPCR検査で判定できないと言われるステルスオミクロン株が世界の60か国以上に広がり、日本でも感染者が確認され警戒が強まっている。</p> <p>新型コロナウイルスが長期間にわたり変異を繰り返しながら猛威を振うなか、本町もさまざまな所で感染が発生し、特に、各小中学校の関係者の感染が相次ぎ休校を余儀なくされ、休校に伴う自宅学習で、共働き世帯などの家庭での負担や学習環境の不備による学力低下などが危惧されている。</p> <p>また、休校によって授業の遅れなどによる学力低下や学校間の学力格差、感染者の家族への誹謗中傷などが起こり、学校教育活動に支障が出て来ていると思われる。児童生徒が安全で健全な学校教育や保育園での生活を行うためには、家庭や学校・保育園と連携を強化した対策や登校時の健康把握の徹底など、より一層の感染防止対策が求められている。</p> <p>①小中学校や保育園での新型コロナウイルスの感染防止対策は。</p> <p>②感染に伴う休校時の家庭での対策は</p> <p>③休校に伴う授業の遅れと学力低下の対策は</p> <p>④今までの新型コロナウイルス対策の検証は</p>	教育長

(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和 4年 2月 25日

大山町議会議長 米本 隆記 様

議席番号 6番 大山町議会議員 池田 幸恵



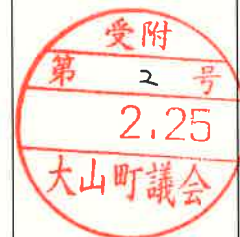
一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間

50分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1.オンライン授業の導入を</p> <p>タブレットの導入により、学習状況にも変化がでてきたと思われます。そこでタブレットの活用状況について以下のことを問います。</p> <p>① 各教科における活用方法は</p> <p>② 家庭での活用状況は。</p> <p>③ コロナ禍で休校時や長期欠席の児童・生徒への授業配信への活用は考えていないか。</p>	教育長
<p>2. 乳ガン自己検診手袋配布で関心率の向上を</p> <p>乳ガンは自分で発見できる唯一のガンであり、早期発見の場合、治癒率は約 90%です。早期発見ならではのこそ、治癒が可能であり定期的な検診が何より大切です。</p> <p>そこで以下のことを問います。</p> <p>① コロナによる受診への影響はみられないか。</p> <p>② 検診率の算出データによると 40代においては毎年 100%以上の方が受診しているが、対象者は全員受診できているのか。</p> <p>③ 受診率向上に向けて AI を導入してのダイレクトメールなどが導入されてきたが、受診しない要因の調査はしているのか。</p> <p>④ 受診への意識づけとして初めての乳房超音波（乳腺エコー）検査対象となる 30 歳、乳がん検診の対象となる 40 歳などにセルフチェックシートや自己触診補助具を配布してはどうか。</p>	町長



(注)的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする

大山町議会議長 米本 隆記 様

議席番号 5番 大山町議会議員 森本 貴之



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間

50 分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1. 令和4年度予算がえがく本町のビジョンは</p> <p>令和4年度当初予算額は大凡110億円であり、本町合併後2番目の予算規模となっています。計上された主な事業として、町民みんなが暮らしやすいまちづくり、教育・子育て・生涯学習のまちづくり、経済産業が成長するまちづくり、健康・長寿・福祉のまちづくり、行財政改革による持続可能なまちづくりと銘打ち、様々な新規事業も盛り込まれています。積極予算と受け取れますが、アフターコロナを見据え、本予算がえがくビジョンとはどのようなものでしょうか。また、財政運営の見通しなどをどのように考えておられるのか質問いたします。</p> <p>① 町民みんなが暮らしやすいまちづくりのためには、教育・子育て・生涯学習、経済産業の成長と、健康・長寿・福祉のつながりは欠かせない。少子人口減の社会のなか、子育て施策と福祉施策のバランスと産業活性化と移住定住施策の今後をどのように捉えているか。本町のビジョンは。</p> <p>② 行財政改革による持続可能なまちづくりにおいて、デジタル化への対応は必須ではないか。財政運営の見通しと持続可能な行財政改革の具体的な考え方は。</p> <p>③ GIGA スクール構想による1人1台端末の整備などがコロナ禍により急速に求められた。今となれば当たり前にリモート教育のニーズが高まり、教職員に求められるスキルも増加している。また、学校現場と保護者、児童生徒を取り巻く環境も多岐にわたり、よりきめ細かい環境整備が求められているのではないか。本町において、本予算が目指す教育ビジョンとはどのようなものか。</p>	町長 教育長



(注)的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする

大山町議会議長 米本隆記様

議席番号 7番 大山町議会議員 門脇輝明



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 50分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1 奨学金返還支援等の拡充について</p> <p>日本の人口減少はとどめることが難しい大きな流れとなっている。本町はその流れをできるだけ緩やかにするために、子育て支援をはじめとした様々な施策に取り組んでいる。</p> <p>その結果、転入が転出を上回る人口の社会増になるなど、喜ばしい結果も出ている。</p> <p>施策のうち特に、教育費の負担軽減については、保育料の無償化、給食費の無償化、修学旅行費の補助、高校通学費の補助、小中学校の少人数学級の実施、そして、奨学金の返還支援など、全国でもトップグループを走っていると信じている。</p> <p>大切なことは、この充実した支援を人口減少のストッパーとなるよう繋げていくことだと考える。</p> <p>そこで、社会への出口に立つ大学等の卒業生に対して、本町の魅力をアピールするために、本年度から始めた奨学金返還支援制度の拡充を提案したい。</p> <p>① 正規雇用された者のみが支援の対象となっているが、社会の雇用情勢を見ると、正社員は減少し、パートで働く人が増え、副業を持つ人も増加が見込まれている。パートで働いて奨学金の返還をしている人も相当数いる。</p> <p>奨学金の返還を証明する書類をつけて、支援の請求をすれば、正規雇用であるという条件は必要ないのでは。</p> <p>② 後継者不足で厳しい状況にある農業において、親元就農する人や起業する人は、奨学金の返還支援を受けることができない。農林水産業においては、農協や漁協の組合員となることで、正規雇用とみなしてはどうか。</p>	町長 教育長
<p>2 窓口対応と研修について</p> <p>議員の皆さんもそうだと思いますが、できるだけ町民の皆さんに寄り添ってお話を聞かせていただくよう心がけています。役場職員の皆さんも、同様に、日常的に町民の皆さんとの接点である窓口業務において、その都度でいねいに対応いただいていると思います。</p> <p>ところが、町民の方と話をする中で、窓口で話したけれど納得できなかった、何とかならないかと言われることが時々あります。ほとんどが気持ちのすれ違いからだと思います。</p> <p>そこで、こうしたすれ違いをなくすための研修について伺います。</p> <p>① 接遇研修と言われる研修はどのように計画・実施されていますか。</p> <p>② 近年の窓口対応等に関する苦情は何件ありましたか。</p> <p>③ 苦情はどのように処理されていますか。</p>	町長 教育長




(注)的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和4年3月1日


大山町議会議長 米本隆記 様

議席番号 8 番 大山町議会議員 大森正治 

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 50 分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1. 憲法を生かした子育て・教育政策をさらに</p> <p>憲法は国の基本的なあり方、方向性を示す最高法規である。行政は、これに沿ってその条項を実現する任務がある。</p> <p>憲法 26 条第 2 項は「すべて国民は、法律の定めるところにより、その保護する子女に普通教育を受けさせる義務を負ふ。義務教育は、これを無償とする」とある。この規定に沿って、国、政府はその実現に向けて努力しなければならないのに、75 年たっても義務教育の無償化の歩みは遅々たるものである。日本においては、未だに父母負担に負う部分が少なくない。</p> <p>国がやらないなら、やるまで待つのではなく、地方自治体が先行してやることは、意義あることであり重要なことと考える。</p> <p>竹口町政は、人口減少対策の柱である子育て政策として、学校教育においても保護者負担の軽減を次々と打ち出している。これらは結果的に憲法 26 条の実現を大山町から図っていかうとするものである。</p> <p>今後もこの視点も意識しながら、子育て政策、教育の無償化に努力してほしい。そこで、次の点について伺う。</p> <p>(1) 小学校の授業に必要な経費に対して補助を検討しないか。 ①入学時の経費への補助はどうか。 ②各学年に必要な教材費への補助はどうか。</p> <p>(2) 中学校の授業に必要な経費に対して補助を検討しないか。 ①入学時に必要な経費への補助はどうか。 ②特に、制服購入費の補助はどうか。 ③女子の制服で、スカートだけでなくスラックスも認めるべきではないか。 ④各学年で使う教材費への助成はどうか。</p>	<p>町長 教育長</p> <div data-bbox="1236 1765 1476 2002" style="text-align: right;">  <p>受附 第 5 号 3.-1 大山町議会</p> </div>

(注) 的確な答弁がえられるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。
質問の相手は、町長、教育長、農業委員長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>2. 国民健康保険税の引き下げを</p> <p>安心して医療を受けられるための国保税は相変わらず、被保険者にとって負担が重くて家計を苦しめ、その支払いに四苦八苦している世帯が少なくない。それは税の中で国保税の滞納率が最も高いという実態にも表れている。</p> <p>その原因は、国がかつて 45%だった国庫負担率を 30%ほどに引き下げたことが最大の原因である。そして、国保加入者は自営業者、農漁業者、75 才までの高齢者、非正規労働者など低所得者層が多く、加えて、所得や資産だけでなく、収入に関係なく平等割、均等割りという世帯や家族の人数に応じてかかる算定方法が導入されているため、国保税が高負担の要因になっている。</p> <p>中小企業の社員などが加入する「協会けんぽ」と比べても、2 倍の負担になっており、国保は、収入は低いのに高い保険料という構造的な問題を抱えている。</p> <p>全国知事会は国に 1 兆円の国庫負担増を求めているが、鈍い対応しかしてない。</p> <p>こうした現状のなかで、少しでも町民の負担を減らし家計を支援するためには、地方自治体が腰を上げ実行していくしかない。</p> <p>そこで、次の点について伺う。</p> <p>(1) コロナ禍で疲弊した家計を支援するために国保税の引き下げを検討しないか。</p> <p>① 国保税の 1 人当たりの調定額は直近のデータでいくらか。県内の自治体と比較してどうか。</p> <p>② 基金の活用や一般会計からの繰り入れなどによって、国保加入者の負担割合を軽減する考えはないか。</p> <p>(2) せめて、高校生以下の子どもの均等割りを廃止して、子どものいる国保加入者世帯の負担軽減を検討しないか。</p> <p>① 子どもの均等割りを廃止した場合、法定減免なし、両親と子ども 2 人、年収 400 万円の世帯で試算すれば、国保税はどれだけ減額になるか。</p> <p>② 高校生以下の子どもの均等割りを廃止した場合、大山町ではどれだけ財政負担が増えるか。</p>	町長

(注) 的確な答弁がえられるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。
 質問の相手は、町長、教育長、農業委員長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

大山町議会議長 米本隆記様

議席番号 13 番 大山町議会議員 吉原 美智恵 印



一般質問通告書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 50 分)

質問事項と要旨	質問の相手
<p>1. 大山の「日本遺産」を活かす取り組みは</p> <p>大山の「日本遺産」認定から5年目の今年は、再評価の年を迎える。 「大山開山1300年祭」の中での日本遺産の認定は、大山の歴史的・文化的価値が内外に発信される機会となった。 雄大な自然と共に歴史的価値が見直されることになり、大山への注目度も大いに高まったと認識している。 ただ、日本遺産は他の文化財と違い、一度認定されても5年ごとに見直され、認定取り消しもあり得るということである。 再認定の準備は出来ているのか。</p> <p>(1) 大山山麓の圏域で申請しているが、その後の取り組みは。</p> <p>(2) テーマである「地蔵信仰が育んだ日本最大の大山牛馬市」が観光振興や、地域活性化に活かされているか。</p> <p>(3) コロナ禍を機に観光ニーズも大きく変化している。県民が近場を観光する体験プログラムの検討は。</p> <p>(4) 学校現場での取り組みは。</p>	町長 教育長
<p>2. 地域包括システムの更なる推進は</p> <p>大山町では、団塊世代の全てが75歳以上となる2025年を見据え、高齢者が可能な限り、住み慣れた地域で、自立した日常生活を営むことを可能としていくため、医療、介護、介護予防、住まい及び生活支援が確保される体制として「地域包括ケアシステム」が構築され、推進されていると認識している。 人口減少が続く中、少子化や核家族による一人暮らしの高齢者の増加など、環境が大きく変化してきている現実がある。</p> <p>(1) 地域共生社会実現への取り組みは。</p> <p>(2) 認知症施策の推進は。</p> <p>(3) 介護予防・健康づくり施策の充実・推進は。</p>	町長



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。
質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和4年3月 2日

大山町議会議員 米本 隆記 様

議席番号 3番 大山町議会議員

豊 哲也



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間

50分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1 役場職員の働きやすさについて</p> <p>100億円を超える本町の年間予算が使われる際に、その使い方次第で効果は全く違ったものになってくる。実際に予算を執行するのは本町の職員一人一人だ。職員の働き方、モチベーション、職場環境などで作業効率が大きく変わってくる。そこで職員一人一人が十分にその能力を発揮できている環境にあるかを伺う。</p> <p>1. 役場職員が失敗を恐れず町民のために果敢に業務にチャレンジできるような職場環境は整っているか。</p> <p>2. 職員一人一人のやる気・取り組む姿勢によって、施策の効果がだいぶ変わってくると思われるが、そうしたメンタル的な配慮はなされているか。</p> <p>3. パソコン作業などが仕事の多くのウエイトを占める職員の場合、機材の良し悪しで作業効率が大きく変わる可能性がある。例えば、パソコンのモニターを追加し二画面（デュアルモニタ）などすることで改善が見込まれるが、検討などされているか。</p> <p>4. 公務員の副業については「本業がおろそかになる」や「不正が起こる」などの懸念点が挙げられるが、それは民間企業でも同じことで、調べたところ「公務員の経験値が上がり、見識が高まる」などのメリットのほうが大きいと思われるが本町での取り組みはいかがか。</p>	町長



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。


質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p data-bbox="204 219 954 257">2 本町の新型コロナウイルス対応について</p> <p data-bbox="196 338 1334 495">新型コロナウイルスやワクチンに関して日が経つにつれ情報も増え、町民の方達の認識も少しずつ変わってきている中、本町の新型コロナウイルス対応について問う。</p> <p data-bbox="196 575 1329 732">1.新型コロナウイルスの分類を2類感染症から5類感染症へすることで医療機関の負担が減り、経済がたち直るのではと考える専門家もおり、他の自治体からも県や国に要望が出ているが本町の考えは。</p> <p data-bbox="196 813 1329 969">2. ワクチン接種について不安に思われている方が町内にも多くいらっしゃるが、今までのワクチン接種後の副反応・後遺症など本町の事例は公表していかないか。</p> <p data-bbox="196 1050 1329 1252">3. コロナ が収束に向かっている中、5歳から11歳へのワクチン接種はリスクとメリットを天秤にかけた時、本人たちには重症化を防ぐなどのメリットより副反応などのリスクの方が多いと思われるが、本町ではそうしたことが町民に周知できているか。</p> <p data-bbox="196 1332 1329 1435">4. 国のワクチン後遺症への対応が遅れる中、本町独自の対策を練っていく予定はあるか。</p>	町長

(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和4年3月2日

大山町議会議長 米本 隆記 様

議席番号 1番 大山町議会議員 小谷 英介 

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間

50分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1) 若手職員の育成について</p> <p>【課題】 若手職員の勤務意欲とパフォーマンスの向上、管理職の育成。</p> <p>【提案・質問】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本町の課長の平均年齢は。 2. 人事評価制度や勤務評定をどのように運用しているのか。 3. 人事考課の結果は、実際に職員の配置、昇任昇格、給与などへ反映されているのか。 4. 管理職を育成するために、町長が施政方針にかかげているような重点分野で、新たに課や室を新設し、やる気と能力のある若手職員を管理職に抜擢しないか。(例：グローバル推進課、男女共同参画推進課など) 	町長
<p>2) 地域おこし協力隊などの活用方針について</p> <p>【課題】 地域おこし協力隊、地域おこし企業人、地域プロジェクトマネージャーなど国の制度の積極的な活用、中央省庁との人事交流。</p> <p>【提案・質問】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域おこし協力隊の募集枠（ミッションなど）を具体的に企画検討するうえで重視しているポイントはなにか。 2. 新年度採用予定の地域おこし協力隊(起業部門)はどのようなミッションか。 3. 今後の新規採用枠として、 <ul style="list-style-type: none"> ・地域こども教室や学童など、子どもの放課後や休日の魅力化をするコーディネーター ・部活動の地域移行コーディネーター ・オンライン交流も企画できる国際交流のコーディネーター など 子育て・教育分野での、地域おこし協力隊を積極的に活用しないか。 4. 地域活性化起業人はどの分野での活用を考えているか。子育て・教育分野で活用しないか。 5. 過去に実施した中央省庁との人事交流の総括は。今後、内閣府や文部科学省などとの人事交流をまた実施しないか。 	町長



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和4年3月2日

大山町議会議長 米本 隆記 様

議席番号 4 番 大山町議会議員 島田一恵



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 50分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1 空き家対策について</p> <p>全国で急激な人口減少が進む中、空き家空き地や荒廃地対策が各自治体として、検討すべき課題として取り上げられています。</p> <p>その中で町内数々の空き家課題を抱えております。</p> <p>放火など犯罪が発生しやすい。</p> <p>老材化した建物は事故が起こる可能性が高い。</p> <p>不法投棄されやすい。</p> <p>質問内容</p> <p>1、空き家空き地の現状は、空き家バンクで登録している軒数だけでなく大山町内の空き家の軒数も管理できているのか。</p> <p>2、空き家に対する解体助成制度を創設する考えはないか。(特定空き家除く)</p> <p>3、土地の税額の上昇が空き家を除却されずに放置される原因のひとつになっているが、徐却を促進する為に減免する制度はできないか。</p> <p>4、空き家の情報をデータベース化し、地域自主組織と地域おこし協力隊と空き家空き地情報を共有し空き家対策に取り組むのはどうか。</p>	町長



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和4年3月2日

大山町議会議長 米本 隆記 様

議席番号 2番 大山町議会議員 西本 憲人 印

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 50 分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1. ゴミ問題を解決して収益化しないか</p> <p>鳥取県は、1人が1日に出すゴミの排出量が全国でも多く、平成29年度は47位と最下位であった。</p> <p>本町の今後のゴミ（廃棄物）対策を問う。</p> <p>① 本町としてのゴミ問題の把握、計画、削減など今後の目標はどうなっているか。</p> <p>② 排出量やりサイクル率は。</p> <p>③ 資源ゴミを直で販売してみてもどうか。</p> <p>④ 生ゴミ処理機などの補助の有無、利用実績は。</p>	町長
<p>2. 少子化対策の明確な目標値は</p> <p>少子高齢化・人口減少は全国的な問題である。</p> <p>もちろん、複合的な原因があるのだが、ある程度軸を持って仮説を立てての取り組みが必要である。</p> <p>① 大山町少子化対策のアプローチで合計特殊出生率を目標値としてあげているのはなぜか。</p> <p>② 今後どんな目標値を掲げて、どんな政策を行えばその数値に近づけるのか具体的な事業案はあるか。</p>	町長



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和4年3月3日

大山町議会議長 米本 隆記 様

12番 大山町議会議員 近藤 大介 印

一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 50 分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1. これからのまちづくりについて</p> <p>まちづくりの主役は町民である。少子高齢化が進む本町にあって、活力があるまちづくりを進めるため、住民参画をどのように進めていくかという観点から、以下について質問する。</p> <p>1) 住民参画によるまちづくりについて、本町の現状と課題をどう認識しているか。</p> <p>2) 合併後17年経ったが、町民の一体感について、町長の認識は。一体感醸成のため、住民参画による新たなイベントを企画できないか。</p> <p>3) 宅地開発がある一部地域を除き、町内の多くの既存集落では、少子化、高齢化が著しく進んでいる。このことによる様々な課題も深刻になってきているが、どのように認識しているか、また今後の対策をどう考えているか。</p> <p>4) 総務省の資料では、集落支援員の役割は、「地域の実情に詳しく、集落対策の推進に関してノウハウ・知見を有した人材が、市町村職員と連携し、集落への目配りとして集落の巡回、状況把握等を実施」することとあるが、大山町ではそのような運用になっていない。本来の制度にそった運用に改善していくべきではないか。</p> <p>5) 集落の課題解決のためには、集落の現状を多角的に分析する必要がある。そのための基礎的な資料として、町内各集落の自治の状況…役目・総事の種類や、どのような行事等があって、年間どれくらい参加しなければならないか、区長・自治会長など各種役員はどのように決められ、どの程度の負担があるかなどについて調査してはどうか。社会変化にともない改善すべき集落自治の課題を、見える化することができると思うがどうか。</p>	町長
<p>2. 除雪機の補助金について</p> <p>高齢化が進み、除雪作業の負担が増している。作業負担を軽減し、地域の支えあいを進めるため、集落や個人が購入する小型除雪機に補助金を出すことはできないか。</p>	町長



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和4年3月3日

大山町議会議長 米本隆記様

議席番号14番 大山町議会議員 岡田 聡 印

一般質問通告書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 50分)

質問事項と要旨	質問の相手
<p>1、小・中学校教育の向上は</p> <p>令和4年度から、県内市町村に先駆けて町内小・中学校の全学年30人学級を導入される。非常に先進的であり、教育環境の一層の向上に寄与する制度であると考えます。少人数学級のメリットを最大限に生かしながら、児童・生徒の個々の能力や長所を大きく成長させることが望まれます。</p> <p>そのためには、余裕を持った教師の配置が不可欠と考えます。十分に教員の配置をしながら、かけがえのない児童・生徒たちの心身共に健やかな成長、そして学力向上を促していき、次世代を生き抜く力を育てていくべきと考えます。</p> <p>(1) メリットをどう考えているか。デメリットはないか。</p> <p>(2) 全国学寮・学習状況調査で、県内の児童の学力が低下傾向にあるということから、県と市町村が共同で学力向上プログラムに取り組むようですが、どのような形になるのか。町内の児童・生徒の状況はどうか。</p> <p>(3) 加配教員の確保は確実に出来るのか。また、特別支援学級の教員や育休代替教員の確保はどうか。</p> <p>(4) 全国体力テストでは、県内小学生は「低下」中学生は「好成績」という結果のようだが、対応は。</p> <p>以上質します。</p>	<p>町長 教育長</p>



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p data-bbox="193 210 938 248">2、高齢者福祉の一層の向上や支援の拡充を</p> <p data-bbox="185 329 1315 539">人口減少にブレーキを掛けるべく子育て支援はますます充実させているようだが、これまでの社会を支えて来られた高齢者の福祉向上や高齢者支援の充実が求められています。住み慣れた地域で生き生きと幸せな老後を過ごせることが大切と思います。</p> <ol data-bbox="185 622 1315 1182" style="list-style-type: none"> (1) 健康寿命を延ばす取組みが更に必要だが、認識はどうか。 (2) 生き甲斐づくりや、地域で支える仕組み作り。また、高齢者のするスポーツの推進も効果があるが親しんでいただく取り組みはしないか。 (3) 日常の生活の質向上も大切だが、フレイル予防と併せて対策は。 (4) デジタル化がどんどん進展していく中で、少しでもデジタルに慣れ生かせるために支援が必要だが。 (5) 認知症になっても地域で安心して暮らせるように、地域で支え合えるような仕組みは出来ないか。 (6) 認知症への理解を深めるには、小・中学校での教育が重要と考えるがどうか。 <p data-bbox="217 1263 421 1301">以上質します。</p>	<p data-bbox="1347 210 1442 309">町 長 教育長</p>

(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和4年3月3日

大山町議会議長 米本 隆記 様

議席番号 8番 大山町議会議員 大原 広巳



一 般 質 問 通 告 書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 50 分)

質 問 事 項 と 要 旨	質問の相手
<p>1. 家庭保育支援給付金事業について</p> <p>①給付対象者の推移と2歳までの家庭保育数の推移は。</p> <p>②給付期間の再度延長が必要ではないか。</p> <p>③月額3万円給付を増額しないか。</p> <p>④今後、アンケート調査の予定はないか。</p> <p>⑤こども課の「少子化対策のアプローチ」で合計特殊出生率1.95を目指すとなるが、出生数の目標は。</p>	<p>町長 教育長</p>
<p>2. 耕畜連携推進事業について</p> <p>①堆肥利用者数や数量の推移は。</p> <p>②補助金事業の今後の予定は。</p> <p>③散布機械の更新など、今後の事業計画は。</p> <p>④大山町ブランド農産物として、連携事業化できないか。</p>	<p>町長</p>



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会長、選挙管理委員長、監査委員等とする。

令和4年3月3日

大山町議会議長 米本 隆記 様

議席番号 15番 大山町議会議員

野口俊明



一般質問通告書

次のとおり通告します。

(質問予定時間 45分)

質問事項と要旨	質問の相手
<p>1. 農地は、農業はどう守る</p> <p>農業の形態や農作物の栽培技術の向上 また各種の補助金等により農業が見直され ブロッコリーやネギ等野菜部門には特に新規参入や 新規就農者多く見受けられる。しかし心配 する事は、意欲があっても取り残される人 がいる事である。そういう人達を救う手立て はないのかと思ひ、又、現状についても 質問します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 補助金と利用出来ない農家とは、又、 どういう形態の人か利用出来ないのか。 米農家支援も含めて 2. 遊休農地の発生防止と解消は どうなっているのか。目標か あったか現状は 3. 現在の具体的な推進は 4. 農地中間管理機構との連携は どうなっているのか。 5. 非農地判断の現状は 6. 遊休農地の再生についての 取組は 7. 担い手への農地利用集積・集約化は。 農地利用集積目標かあったか 現状は 8. 農地の所有者確知することか 出来ない農地の取扱いは、 我が町(大山町)にもあるのか。 9. 新規参入の促進目標かあったか 現状は 10. 資格外の人を救う制度や補助金の 考えは 11. 町への愛着、町の産業について 義務教育の中でどのような 取り組みが子供達の意識は どうなっているのか 	<p>町長 教育長 農務委員会</p>



(注) 的確な答弁が得られるよう、質問の要旨は具体的に記載すること。

質問の相手は、町長、教育長、農業委員会、選挙管理委員長、監査委員等とする。